

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



駒沢オリンピック公園(世田谷区・目黒区)

西徳寺の予定

10月

- 6日(日) 午後2時半 城西ブロック会間法会
場所:西徳寺
- 12日(土) 午後2時 総代会
- 12日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話:大谷 隆
- 13日(日) 午後2時半 城南ブロック会間法会
場所:三茶しゃれなあと
- 16日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 19日(土) 午後2時 定例間法会
- 23日(水) 午前10時 仏具磨き
- 27日(日) 午後2時半 中央ブロック会間法会
場所:西徳寺

11月

- 2日(土)・3日(日) 報恩講
- 3日(日) 午後2時 御親修 開基400年・本堂建立100年記念法要
- 13日(水) 婦人会食事会
- 16日(土) 午後2時 定例間法会
- 16日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話:大谷顧問
- 17日(日) 午後2時半 城北ブロック会間法会
場所:西日暮里「一合」
- 23日(土) 燈虹塾演奏会

※予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。



10月の山門の言葉



この慈悲始終なし (『歎異抄』第4条) ～我々が起こす慈悲の傲慢さ～

「自分って優しいな、こんなこともしてあげて、あんなことも聞いてあげて」とよく思いながら生きている。しかし、時にそのことで相手を傷つけたり、不快にさせたりしてしまう。どうしてだろうと考えてきたが、この歳になりようやく気付かされた。良かれと思いい、人に為してきた自分の行為には、「限界」があるということだ。

友人にAさんが嫌いでたまらないと相談された時、Aさんと仲がいい私は、自分の人間関係が崩れない程度に話を聞く。崩れない程度に声をかける。一見、いいことをしたように表面上は見えるが、ただ、自分を守り、相手の悩みに向き合うことから逃げていただけであった。相手からすれば中途半端な善意のように見え、逆に不快にさせてしまう。これは、自分の都合を優先するような善意であった。今ある自分の立場が崩れてしまうことを一番恐れていたのだ。結局自分が一番かわいしいし、大事だということがなかなか自分の中から排除することはできないゆえの姿だった。

親鸞聖人は、我々が起こすすべてのものを憐れみ、慈しむという慈悲の心は、不完全であると明らかにされる。この人にもあの人にも良く思われたい、大切にしたいとどんなに思っても、その気持ちには、自分は良いことをしたという傲慢さ、こうすることで関係が悪くなってしまうのではないかと、保身的な感情が入ってくる。

今回、自分の起こした行為というのは、そういった自分の都合が中心になるような不完全なものであるからこそ、限界があるのだと気づかされた。

(大谷隆記)

顧問のカレンダーに聞く

人間が

人間だけでやそいく

現代の問題は

そこにある

Humans think only of what is good for humans.
That is the problem of the modern age.

100才を越えたご門徒が、「100年かけてはつきり分かったのは、人生は思うようにならないことだ」と言った。そして今、その思うようにならない者同士の衝突が戦争を起し、地域など多くの関係を破壊している。このまま現実を生きることが許されるのであろうか。

聞法を縁として、人間各々の中に流れている自我のすがたに目覚める。それが人の道を超えた仏道なのだ。人間の儂さを教えられ、あらゆるいのちの縁によって、生かされていることに目覚めよと勧められている。





いまさら聞けないお寺のこと

【お坊さんの呼び方】

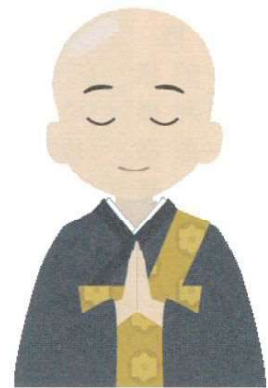


時折ご門徒さんから、「西徳寺のお坊さんを、どのようにお呼びしたらいいの?」というご質問をいただきます。

ちなみに私は滋賀県出身ですが、「ごえんさん」と呼ばれている地域です。「ごえんさん」は主に浄土真宗での「ご院家(いんげ)さん」、「ご院さん」がナマって、主に関西で「ごえんさん」となった地域です。また、大阪の方では「お住持さん」、「和尚さん」がナマって、「おじゅっさん」、さらにナマって「おっさん、おっさま」と呼ばれています。

ちなみに、山崎住職出身の新潟県では、住職を「ごえんさん」、次に住職を継承される方を「ご当院(ごとういん)」と呼ばれているようですし、大谷顧問出身の島根県でも「ごえんさん」と呼ばれているそうです。

関東では「住職さん」と呼ばれていることが多いようですが、西徳寺には法務員(お坊さん)も多いので、気軽に「〇〇さん」と名前でお呼びいただければ嬉しく思います。



ランドマーク

駒沢オリンピック公園 (世田谷区・目黒区)

先日開催されたフランスパリでのオリンピック・パラリンピック。今月は60年前の昭和39年(1964年)に開催された、東京オリンピックの会場となった駒沢オリンピック公園に伺いました。

元は1940(昭和15)年のオリンピック会場として、駒沢ゴルフ場があった土地に、新たな競技場の建設が決まっていたが、日中戦争の激化により開催権を返上。着工に至りませんでした。

戦時中は防空緑地となっていました。1949(昭和24)年に駒沢総合運動場が整備、その後「駒澤野球場」が建設され「東急フライヤーズ」の本拠地として使用されます。

そして昭和39年、東京オリンピックが開催。国立競技場に次ぐ第2会場としてサッカー、レスリング、バレーボール、ホッケーの競技が行われました。オリンピック終了後、会場の跡地に「駒沢オリンピック公園」が開園しました。「東京2020オリンピック」では、サッカーの公式練習会場として利用されました。

オリンピック記念塔は高さ50m、地下1階、地上12階建ての塔で、上部に給水槽が設けられており、公園の電気・ガス・水道・通信をコントロールしています。



オリンピック記念塔

秋季永代経法要

9月23日(月)秋季永代経法要をお勤めしました。法要後、法務員の仲井と山崎住職が法話をしました。

ご讃題に正像末和讃の「濁世の有情をあわれみて 勢至念仏すすめしむ 信心のひとを摂取して 浄土に帰入せしめけり」をあげ、救いとは何かということを中心にお話されました。私たちは自分の生活がよくなること、悩みが解決することが救いだと思っています。それにたいして念仏の救いは、今まで自分の望みをかなえることを優先にして、数え切れない人々や出来事に支えられてきた事実を蔑ろにしてきた。そのことに気づくことが救いであり、何物にも代えがたいヨロコビであると教えていただきました。

(蓮井 邦宗 記)



山崎住職



仲井法務員

城東ブロック会報告

9月8日(日)、本堂にて城東ブロック会聞法会を開催いたしました。

大谷最高顧問からは「仏教は自分のことを外すと、途端に分からなくなる」と説かれ、また、「私の力では聞けない。けれども、様々なショックによって聞かされるのである。事故や病気、身近な人の出来事がショックとなって、初めて聞かされる。それがないと聞けない」と話され、ご参加の皆さんから活発に意見が出されました。

次回は2月2日(日)に、聞法会を開催する予定です。皆様のご参加、お待ちしております。(高橋 淳 記)



燈虹塾 セミナー報告

今年3月～5月に東京藝術大学・大学美術館で開催され、大反響だった「大吉原展」。燈虹塾塾頭の日比谷孟俊氏と理事を務める望月太左衛氏も携わった本展ですが、今回はこの展覧会の企画から運営に渡ってご尽力された東京藝術大学・大学美術館教授である古田亮先生をお招きしました。

印象的だったのは浮世絵のお話。絵と同じ構図で再現しようとする、どうしても無理が生じてくるとのこと。そこから気づかされたのは、絵師が目指したのは写真のような再現ではなく、何を伝えようとしていたのかということ。物事の上辺だけ見る我々に対して、本当の訴えを聞くことを学ぶ時間でありました。

(事務局・高橋 淳 記)



古田亮先生よりお話をいただきました

皆様の代わりに、お花・お線香等、お墓にお供えできます。

報恩講のご案内

日時：11月2日（土）

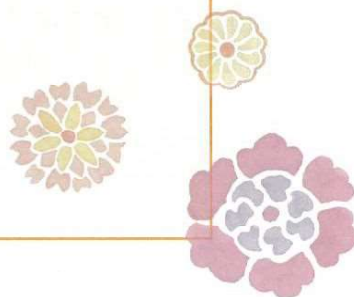
午前10時	初日中法要 法話
午前11時半	混声合唱団「エコー」演奏
正午	お斎（昼食）
午後1時半	大遶夜法要 法話
午後3時半	『御伝文』拝読

11月3日（日）

午前10時	満日中法要 法話
正午	お斎（昼食）
午後2時	御親修 開基400年・本堂建立100年記念法要
午後3時半	御親教（御門主お言葉） 複演（法話）
午後4時	帰敬式（お剃刀）
午後4時半	書道パフォーマンス 声明の記念イベント



日下貴行布教使



布教使紹介

この度の報恩講は昨年に引き続きまして、兵庫県西宮市の常福寺住職であります、日下^{くさか}貴行布教使をお迎えいたします。

日下布教使は私と大橋副住職と共に、本山で研修を受けた仲間です（第十次聞法運動推進員養成研修会：燈炬会）。また、本山発行の「ともしび」編集にも携わっており、今後の佛光寺派の要となろう方であります。

前回は、生活に密着したご法話を頂きました。本年も身に迫るお話をいただけると期待しております。

是非、皆様お誘い合わせの上、ご来寺ください。

住職 山崎 哲

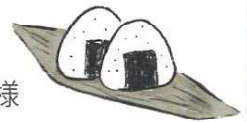
※記念法要の詳細は以前お配りしたチラシをご覧ください、西徳寺ホームページにて確認していただくことができます。

- ・お斎（昼食）の関係上、お参りの方は電話にて **10月30日まで**にお申し込み下さい。
- ・恐縮ではございますが、法務執行のためご懇志のご協力をお願い申し上げます。

仏具磨きのご案内

報恩講・記念法要を迎えるにあたり、**10月23日(水)午前10時～**仏具磨きをいたします。
 一緒に仏具を磨いてくださる有志の方を募集します。きれいなお荘厳で一年の締めくくりであり、真宗門徒にとって大切な報恩講と開基400年・本堂建立100年の記念法要をお迎えしたいと思います。
 ※昼食はこちらでご用意いたします。
 動きやすい格好でご来寺ください。(お寺で着替えることもできます)
 ご協力いただけます方は**西徳寺寺務所(03-3875-3351)**までご連絡ください。

えこお志お礼



千葉県 山本 英男 様
 埼玉県 無田 守 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
 ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



実る稲穂(滋賀県草津市)

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、
 愚禿が心を顕す～

最近ご門徒の方から、葬儀や仏事の相談をよく受けます。中には頼んだ葬儀社が信用できず、もし次があったら・・・なんて相談も。初めてのことばかりで、混乱した中に物事を決めないといけない。まともな判断ができる状況ではないでしょう。

相談を受ける中で感じるのは、ある意味では儀式を通して、失敗から学ぶことも大切なのではないのでしょうか。頼れる親せきの方がいれば別ですが、慣れることはありません。分からないのが当然でしょう。

内容によってはお身内でご相談いただく内容もありますが、西徳寺では仏事の相談を受け付けています。ご不安なことがあればいつでもお尋ねください。
 (編集長 仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com
 🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
 00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook